ニュース専修
●「専修大学」ホームページ●　http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3－8
☎03-3265-5819（直）

創立150年へ

着実にレール敷く

理事長就任3期目にあたって

日髙　義博

学校法人専修大学は10月31日開催の理事会・評議員会において任期満了に伴う役員の改選を行い、11月3日開催の理事会で日髙義博氏を理事長に選任（再任）した。就任は11月3日付、任期は3年間。

なお、日髙理事長は2004年（平成16年）に専修大学長に就任し、現在3期目である。引き続き学長を兼務する。

このたびの役員改選により、11月3日付で理事長に再任されました。理事長職としては3期目に入ることになります。

振り返りますと、大学力の向上を示した130年記念事業の遂行、北海道短期大学の学生募集停止、東日本大震災後の緊急措置等々、喜びも悲しみも入り混じった、激動の歳月でありました。押し寄せる難問を専修人の力を結集し打開できたことは、130数年の歴史を有するわが大学の底力によるものであり、「人の専修」と言われることを裏付けるものであります。

東日本大震災により、生田キャンパスでは、大学のシンボル的な存在であった3号館が損傷し、2号館の教室も使用禁止になりました。また、神田キャンパスにおいては、5号館が使用禁止になりました。校舎損傷により生田校舎での教室数が減少したこともあり、法学部1年次生の授業を神田校舎に移し、今年4月から、法学部の授業はすべて神田校舎で展開されています。

「人の専修」を土台に
キャンパス構想達成へ
「石巻」地域再生の牽引車に

このような状況にあることから、地震前のキャンパス構想試案は、大きく修正せざるをえなくなり、キャンパス構想検討会議において、短・中・長期のキャンパス構想を練り直すことになりました。短・中期的なキャンパス整備として、生田キャンパスにおいては、生田新3号館、国際交流会館（仮称）、新体育寮（第2体育館付置）等の建設が提示され、神田キャンパスにおいては、新5号館の建設が提示されました。また、神田キャンパスにおいては、都心回帰の動向に対処するため、新校地に4000人強の学生を収容しうる校舎を建設し、都心において複数学部が授業を展開することが可能です。もちろん、どのような教育を展開するのかというソフト面の検討も並行してなされる必要があることは、言うまでもありません。

これらのキャンパス整備には多額の資金を要しますが、創立140年までに、キャンパス整備を成し遂げることを目標に、財政計画も練り直しました。創立140年までには、あと7年しかありません。これからの3年間は、目標達成のために財政基盤を強化し、かつ専修人の力の結集を揺るぎないものにしなければなりません。創立150年に向けた着実なレールを敷くことが、今期の理事長職の責務だと考えています。

石巻専修大学については、地震による校舎損傷はほとんど無かったことから、石巻地域の救援基地として活動し、地域に根ざした大学としての責務を果たしました。この間の学生、教職員の赤心の救援・復興に向けた活動は、わが大学の誇りでもあり、建学の精神の体現でもありました。石巻地域だけでなく、東北地方の復興には歳月を要します。大学の生命線である入学志願者の確保は、厳しい局面にあります。しかしながら、大学が地域再生の牽引車にならなければ、地域に根ざした大学としての意味をなしません。厳しい局面において、石巻専修大学に人間学部（人間文化学科、人間教育学科）を新設しようとしているのも、本学の建学の精神の発露だと考えています。

本学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」を具体的に実現していくため、本学の財政的基盤を強固なものにするとともに、「人の専修」の言葉をかみしめ、教育・研究環境をよりよいものにしていく所存です。

主なニュース

生田キャンパスの取り組みが川崎・省エネ大賞に……❷
地元商店会「ナイトバザール」盛り上げる
経済・黒田ゼミ、商・前川ゼミ……❹
寄稿・震災で知った専大生のパワー　藤森研文学部教授……❺
教育研究振興協力資金募金寄付者芳名……❻❼
「鳳祭」生田・神田写真特集……❽❾
経済学部国際経済学科「海外特別研修」学生寄稿……⓬
石巻専修大学　いしのまきワンセグ放送開始……⓮

「カフェご飯」はいかが？　梶原ゼミ

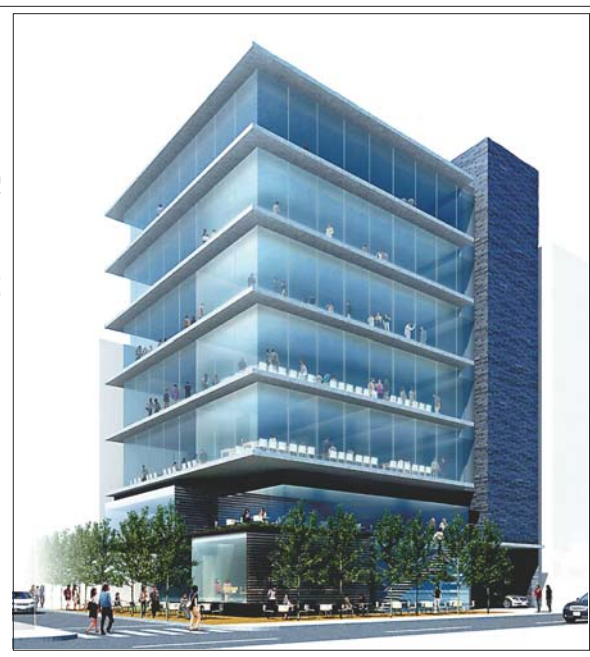
◀女子学生にやさしいお弁当ブランドを開発した商学部・梶原勝美ゼミのみなさん＝4面に記事
写真は神奈川新聞社提供

ロンドン五輪レスリング メダリストらに学ぶ――

社会体育研究所　シンポジウム

＝3面に記事

「新神田5号館（仮称）」2014年に完成へ



▶「新神田5号館」イメージ図

学生の学習と交流 豊かなスペースで

「新神田5号館（仮称）」の建設が急ピッチで進められており、2014年3月完成、同4月からの使用開始を予定している。

「新神田5号館」は地上7階・地下1階、敷地面積約670平方㍍、最大延べ床面積3350平方㍍。

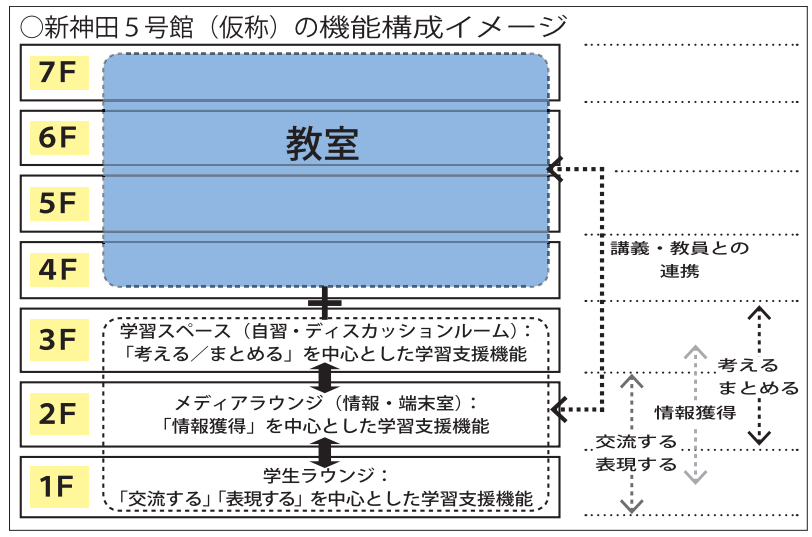
高層階（4～7階）は最新設備を持つ5教室。また低層階（1～3階）には学生が交流する学生ラウンジ、情報端末を配したメディアラウンジ、自習・ディスカッションルームを配した学習スペースなどがそろう。授業機能に加え、「考える・まとめる・情報を獲得する・交流する・表現する」といった学習支援機能が形成された校舎となる。

専修大学は本年4月、神田キャンパスで「法学部全授業の開講」をスタートさせ、学部から大学院、法科大学院までの法学教育機能が神田キャンパスに集約した。神田キャンパスの再開発は、同館にとどまらず今後も進めていく。

また、生田キャンパスにおいても、2・3号館の敷地を利用した新校舎や「国際交流会館（仮称）」の建設、第1体育寮および第2体育館の建て替え構想が進んでいる。

都心にある神田キャンパスと自然に恵まれた生田キャンパス。各キャンパスの特徴を生かし、より快適で機能的な施設整備を今後も推進、充実した学習環境の実現を目指す。

○新神田5号館（仮称）の機能構成イメージ



専修大学フィルハーモニー管弦楽団第40回記念定期演奏会
■12月12日（水）19時開演（18時開場）
■東京芸術劇場コンサートホール
■ベルリオーズ「幻想交響曲」、ベートーベン・ピアノ協奏曲第5番「皇帝」ほか
※先着300人に招待券プレゼント
申し込み方法①〒番号・住所・氏名・電話番号・希望枚数（4枚まで）を明記し、はがきかFAXで。11月30日（金）必着。〒214－8580（住所不要）専修大学庶務課　専フィル係まで　FAX044・911・1280
申し込み方法②専フィルホームページからメールで。http://senphil.jp
11月30日（金）必着　お問い合わせ☎044・911・1239（専修大学庶務課）